

第3章

台東区がめざす環境の姿

第1節 基本理念

第2節 基本目標と指標

第3節 計画の体系

第1節 基本理念

基本理念は、「台東区がめざす環境」の基本的な考え方を表すものです。

ここに示す「3つの基本理念」は、平成12年に初めて策定した「台東区環境基本計画」において定めた基本理念ですが、現在の社会状況にも即しており、時代を超えて次世代に引き継ぐものであるため、新たな計画においても継承します。

基本理念 1

今ある環境資源を活かしながら よりよい環境を創造し、次世代へ継承していきます

台東区は、古くから商工業の中心地の一つとして栄えた地域で、現在は多種多様な産業の集積と居住地が一体となった市街地が広がり、上野・浅草は日本を代表する観光地でもあります。

区内全域が都市化し、一部はさらに都市機能の集積が進みつつある中で、隅田川や不忍池、上野の山等のまとまったみどりや、点在する寺社や公園の緑が、貴重な自然環境や歴史的環境を形成して、まちを輝かせる環境資源となっています。区内にある大小様々な緑地は、野鳥や昆虫等身近な生き物の生息空間となって生態系を育むとともに、住む人、働く人、訪れる人に安らぎや癒しを与え、以前にも増して必要とされています。

私たちはこれらの豊かな環境資源を活かし、次世代へ継承して、「住みたい」「働きたい」「訪れたい」と思えるよりよい環境を創造していきます。

※一般的に「緑」とは、樹木や樹林、草地、草花など植物のものを指しますが、本計画の「みどり」とは、これらの「緑」に加え、水辺空間や公園、裸地なども指すものです。

基本理念 2

生活様式を見直し 地球環境に配慮した「環境都市」をめざします

現在の私たちの文明社会は、科学技術や産業を高度に発展させることにより、豊かさを実現してきましたが、天然資源と化石燃料（石油、石炭等）の大量消費を伴ったため、気候変動や環境汚染等の深刻な問題も引き起こすこととなりました。近年は途上国や新興国の目覚ましい経済成長も加わって、世界の環境問題はますます深刻な状況になっています。

世界の人々が社会と生活を維持しながら地球環境問題を克服していくためには、環境保全と経済成長が両立した持続可能な発展を目指して、天然資源の循環的な利用と、化石燃料への依存を脱却する脱炭素化を実現する必要があります。そのためには、日本国内においても、企業活動をはじめ、仕事の現場や暮らしという一人ひとりの行動の部分でも取組を進化させ、社会全体が変わっていかなくてはなりません。

私たちは、深刻化する世界の気候変動等を自覚し、地球環境に配慮した、世界に輝くまちを創造していきます。

基本理念
3地域を基盤に区民・事業者・区が協働して
計画の実現に取り組んでいきます

台東区は、支え合いを基調とする地域性が古くから育まれ、こうした地域組織力が強みとなり、個性豊かな街並みやまちの活力を創出してきました。

環境への取組は、区民や事業者、区が連携することで力を発揮するとともに、来街者の協力も得ていかななくてはなりません。また、意識や行動を向上させていくための環境学習も不可欠です。

今後も、区民や町会、地域の団体や企業、来街者など、多様な主体間の協働や、それらと区とのパートナーシップを確立し、地域を基盤に本計画の実現に向けて取り組み、ひとが輝くまちを創造していきます。



台東区（上野恩賜公園側から浅草方向を望む）

第2節 基本目標と指標

本計画では、主要課題である「自然」「気候変動」「循環型社会」「生活環境」「環境学習・協働」について5つの基本目標を掲げ、それぞれに指標となる数値目標等と取組の柱を設定して、事業展開を図ります。

【自然】

基本目標 1 花とみどりの輪が広がる、うるおいのあるまち

都市においてみどりが果たす役割は、大気の浄化、緑陰や景観等の形成、生態系の形成等多岐に渡っていることから、「花とみどりの輪が広がる、うるおいのあるまち」を基本目標とします。

具体的には、公園や街路などの公共空間及び私有地のみどりの充実とともに、残された貴重な自然の保全や、本区ならではの花とみどりの継承を図ります。また、身近な空間における自然のみどりが持つグリーンインフラとしての多様な機能を活用し、良好な環境づくりを推進するとともに、自然とふれあう機会を一層創出していきます。

さらに、区全体の緑量を示す「緑被率」、目に映る緑の量を示す「平均緑視率」、区民の取組を示す「身のまわりの花やみどりを増やしている区民の割合」が増えるよう様々な施策を展開していきます。

なお、これらの指標は、令和2年度から令和11年度までの10か年を計画期間とした「台東区花とみどりの基本計画」（令和2年3月策定）の目標値を引用しています。花とみどりの基本計画は、令和6年度に中間改定を予定しているため、今回の本計画の改定では前期の目標値を継続し、花とみどりの基本計画改定の審議の中で改めて決定することとします。

指標項目と数値目標

指標項目	【現状】 令和4年度	【目標】 令和11年度 (2029年度)
緑被率	(10.1%)	10.8%
平均緑視率	(21.8%)	25%
身のまわりの花やみどりを増やしている区民の割合	37.9%	50%

出典：緑被率/台東区みどりの実態調査（平成30年7月1日航空写真撮影）による

平均緑視率/台東区みどりの実態調査（平成30年6月30日～9月19日撮影）による

身のまわりのみどりを増やしている区民の割合/台東区環境基本計画改定に係る基礎調査（令和4年度）

【気候変動】
基本目標 2 地球環境に配慮し、脱炭素に向かうまち

気候変動は、人間社会や生態系の危機につながると考えられており、世界的にも集中豪雨や干ばつなどの異変が発生するなどして、世界全体で気候変動対策が急がれていることから、温室効果ガスを排出しない、「地球環境に配慮し、脱炭素に向かうまち」を基本目標とします。

この目標の達成のためには、パリ協定の実質的な目標である 1.5℃目標を踏まえ、令和32(2050)年における温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。中でも、温室効果ガスの大半を占める二酸化炭素の排出削減を図るため、産業、業務、家庭、運輸の各部門で省エネルギー等の取組を強化するとともに、エネルギー利用の脱炭素化に向けて、太陽光発電などの再生可能エネルギーのさらなる普及に取り組みます。

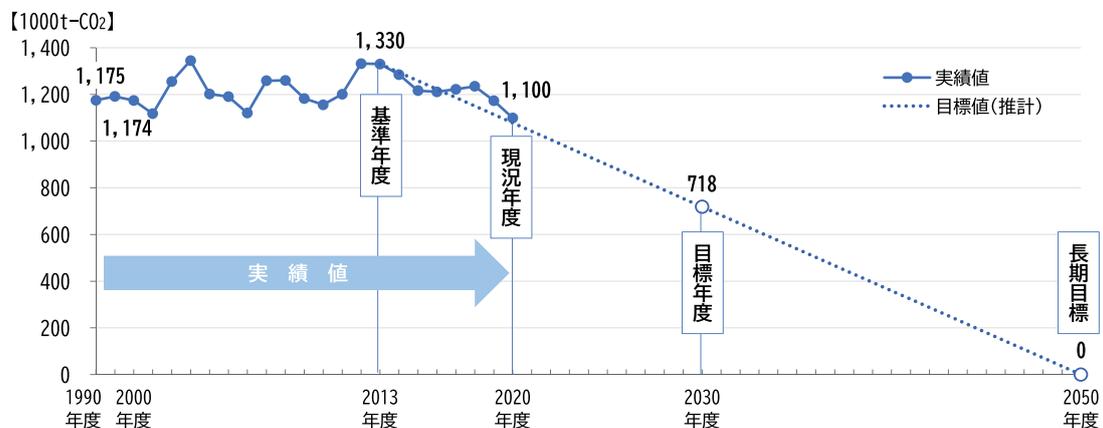
また、ヒートアイランド現象に代表される気温の上昇などへの対応として、気候変動の影響への適応を図るとともに、特に温室効果ガス排出量の多くを占める民生部門（家庭及び業務）について、様々な施策を展開していきます。

なお、計画目標については、国の温室効果ガス削減目標に準じた設定とします。
(73 ページ)

指標項目と数値目標

指標項目	【基準年度】 平成 25 年度	【現状】 令和 2 年度	【目標】 令和 12 年度 (2030 年度)	【長期目標】 令和 32 年度 (2050 年度)
温室効果ガス排出量 削減率(1000t-CO ₂ eq)	— (1,330 [※])	17.3%減 (1,100 [※])	46%削減 (718) 〔さらに50%削減を目指す〕	実質ゼロ

※オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料(令和5年3月)より



温室効果ガス排出量削減目標と実績値の推移

(実績値は、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」資料より出典)

資源の大量消費・大量廃棄が環境汚染やごみ処理の環境負荷、最終処分場の残余年数といった様々な課題をもたらしており、3R（Reduce：発生抑制、Reuse：再使用、Recycle：再生利用）を取組の基本とする循環型社会の形成が必要なことから、「廃棄を抑制し、資源を大切にすま」を基本目標とします。

具体的には、ごみの発生抑制（リデュース）を最優先に、くり返し使用（リユース）する取組、そして、正しく分別し、もう一度資源として再生利用（リサイクル）する取組を促進します。特に、食品ロスが区内の燃やすごみ排出量の一定割合を占めているため、食品ロスを減らすことがごみの減量に繋がることを認識し、区民・事業者・区が一丸となって、SDGs 実現の観点からも重要な食品ロスの削減に取り組めます。

さらに、循環型社会の実現に向け、プラスチックの分別回収に取り組めます。

指標項目と数値目標

指標項目	【現状】 令和4年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)
区民1人1日あたりのごみ・資源排出量	693g	651g [※]

※「台東区一般廃棄物処理基本計画」（令和3年3月）における目標値



戸別収集の様子

【生活環境】

基本目標 4 安心で美しく快適なまち

区内の生活環境については、環境基準を達成し、「安心で美しく快適なまち」を基本目標とします。

具体的には、大気・水質・騒音などの面から、良好な環境を確保するための様々な施策を展開し、環境基準の達成を目指します。また、ごみのポイ捨てや屋外における喫煙に関する意見が多く寄せられていることから、今後も基本的な喫煙等マナーの啓発を強化し、魅力的なまちとして美化向上を図り、世界に誇れる健康で快適な環境づくりを進めます。

なお、指標項目のうち「大江戸清掃隊の登録団体数」については、現状から年間10団体の増加を目指し、令和12(2030)年度の目標を430団体に設定します。

指標項目と数値目標

指標項目		【現状】 令和4年度	【目標】 令和12年度 (2030年度)
環境基準	大気 (3項目)	概ね達成 (2項目達成)	達成
	水質 (4項目)	概ね達成 (3項目達成)	達成
	騒音 (評価対象戸数)	概ね達成 (94.5%達成)	達成
大江戸清掃隊 登録団体数		353 団体	430 団体



大江戸清掃隊によるごみゼロキャンペーン
(おかちまちパンダ広場)



喫煙等マナー指導員

【環境学習・協働】

基本目標 5 一人ひとりが環境を意識し、行動するまち

地球温暖化をはじめとする今日の様々な環境問題の解決や、地域における良好な環境の形成は、区とともに、区民や事業者が協働し、多様な主体が自主的に取り組むことが重要であることから、「一人ひとりが環境を意識し、行動するまち」を基本目標とします。

具体的な取組としては、あらゆる世代における環境学習・教育の充実、区民・事業者や地域の団体など様々な主体による環境配慮行動の促進、行動を促し支える意識啓発と情報発信の充実を図ります。また、環境(エコ)フェスタの開催などの交流の場を今後も提供し、多様な主体の連携・協働の下で、環境保全活動のさらなる強化を図るとともに、環境情報の充実や環境学習の場の整備に取り組み、区民の環境保全活動を継続的に支援していきます。

指標項目の環境学習講座の受講者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少したものの、今後はリモート開催の拡充など新たな学習スタイルを取り入れ、目標達成を目指します。

指標項目と数値目標

指標項目	【現状】	【目標】
	令和4年度	令和12年度 (2030年度)
環境にやさしい暮らし方に取り組んでいる区民の割合	63.8% ^{※1}	78.7%
環境学習講座 受講者数 ^{※2}	4,634人	7,600人

出典：環境にやさしい暮らし方に取り組んでいる区民の割合/台東区民の意識調査

※1 令和5年度 台東区民の意識調査

※2 環境ふれあい館ひまわりで実施した講座等



身近な自然を発信するボランティア
「区民自然観察員」養成講座（精華公園）



リサイクル施設のバス見学ツアー
「リサイくるくる探検隊」

第3節 計画の体系

本計画では、主要課題である「自然」「気候変動」「循環型社会」「生活環境」「環境学習・協働」について5つの基本目標を掲げ、それぞれに指標となる数値目標等と取組の柱を設定して、事業展開を図ります。

基本理念	分野	基本目標	取組の柱
<p>1 今ある環境資源を活かしながら よりよい環境を創造し、次世代へ継承していきます</p> <p>2 生活様式を見直し 地球環境に配慮した「環境都市」をめざします</p> <p>3 地域を基盤に区民・事業者・区が協働して計画の実現に取り組んでいきます</p>	1 自然	花とみどりの輪が広がる、うるおいのあるまち	<p>①花とみどりの創出と保全</p> <p>②花とみどりに親しむ機会の充実</p>
	2 気候変動	地球環境に配慮し、脱炭素に向かうまち	<p>①ゼロカーボンシティを意識したビジネス・ライフスタイルの転換</p> <p>②エネルギー利用の脱炭素化推進</p> <p>③気候変動への適応</p>
	3 循環型社会	廃棄を抑制し、資源を大切にすまち	<p>①ごみの発生抑制の促進</p> <p>②資源循環の促進</p>
	4 生活環境	安心して美しく快適なまち	<p>①健康で快適な生活環境の確保</p> <p>②まちの美化に向けた環境配慮行動の普及・促進</p>
	5 環境学習・協働	一人ひとりが環境を意識し、行動するまち	<p>①持続可能な社会を担う人づくり</p> <p>②多様な主体による環境配慮行動の推進</p> <p>③環境保全の意識啓発と情報発信の充実</p>

主な取組事業の例

関連するSDGsの項目

- ・グリーン・リーダーの活動の活性化
- ・「花の心フラワーサポーター」支援 など



- ・花とみどりのコンテストの開催
- ・花苗等の提供による花に親しむ暮らしの普及
- ・イベント時の一時的な緑化に対する支援
- ・花とみどりに関するイベントの実施 など



- ・我が家・我が社のCO₂ダイエット宣言の普及
- ・事業所向け省エネ機器助成の推進
- ・ゼロカーボンシティ宣言の周知啓発 など



- ・共同住宅共用部照明のLED化の推進
- ・太陽光発電システム等の推進
- ・自治体連携によるカーボン・オフセットの推進 など



- ・雨水貯留槽の設置普及
- ・国産木材の利用促進
- ・暑熱対策「涼み処」の設置 など



- ・プラスチック削減の普及・啓発
- ・食品ロス削減に向けた情報発信
- ・食品ロス削減に向けた取組の促進
- ・生ごみ減量対策事業 など



- ・粗大ごみの資源化の実施及びリユース活動の促進
- ・プラスチック分別回収 など



- ・解体等工事現場におけるアスベスト飛散防止に関する監視、指導
- ・近隣に配慮した生活マナーの啓発
- ・日常生活に影響をもたらす鳥獣害への対策 など



- ・大江戸清掃隊への支援・連携の仕組みづくり
- ・喫煙等マナー向上の推進
- ・公衆喫煙所の整備 など



- ・各種環境講座・イベント・施設見学会の実施
- ・環境学習オンライン講座の実施
- ・森林体験ガイドウォークの実施 など



- ・環境（エコ）フェスタの開催
- ・地域での活動の促進・支援
- ・環境審議会の設置 など



- ・情報発信や自主的な環境学習の拠点としての機能の充実
- ・様々な広報媒体を活用した環境情報の発信
- ・環境基本条例の制定と周知啓発 など



体系別取組事業一覧

基本目標 1【自然】 花とみどりの輪が広がる、うるおいのあるまち			
取組の柱① 花とみどりの創出と保全			
NO.	事業名	担当課	頁
1	区有施設における積極的な緑化の推進	施設課 環境課	57
2	教育施設の緑化の推進	環境課 庶務課	57
3	緑化計画による緑化の促進	建築課	57
4	民間施設緑化助成制度による緑化の促進	環境課	58
5	プランターによる緑化の促進	環境課	58
6	隅田公園サクラ再生	公園課	58
7	魅力ある公園の整備	公園課	59
8	街路樹の更新等による緑の充実	公園課	59
9	公園の花壇の維持管理	公園課	59
10	グリーン・リーダーの活動の活性化	環境課	59
11	「花の心フラワーサポーター」支援	環境課	59
12	区民参加による学校のみどりの維持管理	庶務課	60
13	区有施設の花壇の維持管理	環境課・各課	60
14	区内道路の花壇の維持管理	環境課	60
取組の柱② 花とみどりに親しむ機会の充実			
15	水辺に親しむイベントの開催	環境課	61
16	園芸文化・技術の継承・再生・普及	環境課	61
17	花とみどりのコンテストの開催	環境課	62
18	花苗等の提供による花に親しむ暮らしの普及	環境課	62
19	区民への「花の心」普及	環境課 都市計画課	62
20	イベント時の一時的な緑化に対する支援	環境課	62
21	花とみどりに関するイベントの実施	環境課	62
22	隅田川等の親水性の向上	都市計画課	63
23	水辺と調和する街並みの形成	都市計画課	63
24	【新規】生物多様性の理解と保全	環境課 公園課 庶務課	63
再掲	学校ビオトープを活用した自然観察等の実施	指導課	63
再掲	「ビオトープ調査隊」の実施	環境課	63
再掲	区民自然観察員の養成	環境課	63
再掲	【新規】森林体験ガイドウォークの実施	環境課	63

基本目標2【気候変動】 地球環境に配慮し、脱炭素に向かうまち			
取組の柱① ゼロカーボンシティを意識したビジネス・ライフスタイルの転換			
25	身近にできる省エネの普及推進	環境課	78
26	我が家・我が社のCO ₂ ダイエット宣言の普及	環境課	78
27	【充実】事業所向け省エネ機器助成の推進	環境課	78
28	省エネ通信簿の普及	環境課	78
29	省エネルギー診断	環境課	79
30	共同住宅向け省エネコンサルタント派遣	環境課	79
再掲	町会や事業者団体へのエココーディネーター派遣	環境課	79
31	家庭における環境配慮行動の普及促進	環境課	79
32	【充実】ビジネス環境配慮行動の普及促進	環境課	80
33	新製品新技術開発支援	産業振興課	80
34	【新規】ゼロカーボンシティ宣言の周知啓発	環境課	80
35	【新規】2050年「ゼロカーボンシティ特別区」の実現	環境課	80
36	【新規】最新技術を導入した省エネ・創エネ製品への助成の検討	環境課	80
37	【新規】「デコ活」の周知啓発	環境課 清掃リサイクル課	82
取組の柱② エネルギー利用の脱炭素化推進			
38	【充実】共同住宅共用部照明のLED化の推進	環境課	83
39	【充実】区有施設への新エネ・省エネ設備の率先導入	施設課 環境課	83
40	環境改善資金融資あっせん（省エネ設備）	産業振興課 環境課	84
41	環境にやさしい商店街づくり支援	産業振興課	84
42	長期優良住宅認定制度による断熱等の促進	建築課	84
43	建築物の遮熱化の推進	環境課	84
44	建築物の断熱化の推進	環境課	84
45	【充実】太陽光発電システム等の推進	環境課 建築課	85
46	ソーラー診断の実施	環境課	85
47	家庭用燃料電池の普及推進	環境課	85
48	水素社会実現に向けた普及啓発	環境課	85
49	環境改善資金融資あっせん（エコカー）	産業振興課 環境課	86
50	燃料電池自動車の普及啓発	環境課	86
51	環境に配慮した車両の率先導入	環境課	86
52	【新規】燃料電池ごみ収集車の試験利用	台東清掃事務所	86
53	【新規】大規模集合住宅への環境配慮促進	住宅課	86
54	【新規】自治体連携によるカーボン・オフセットの推進	環境課	87
55	【充実】再生可能エネルギーの普及啓発	環境課	88
56	【新規】区有施設における低炭素エネルギーの導入検討	環境課	88
再掲	低公害・低燃費車への転換の普及・啓発	環境課	88

取組の柱③ 気候変動への適応			
57	透水性舗装の着実な推進	土木課	90
58	雨水や残り湯等の利用による打ち水の普及	環境課	90
59	雨水貯留槽の設置普及	環境課	90
再掲	区有施設における積極的な緑化の推進	施設課 環境課	91
再掲	教育施設の緑化の推進	環境課 庶務課	91
再掲	緑化計画による緑化の促進	建築課	91
再掲	民間施設緑化助成制度による緑化の促進	環境課	91
60	熱中症予防の周知啓発	保健サービス課	91
61	微細ミストの普及	環境課	92
62	コミュニティ防災の構築	危機・災害対策課	93
63	【新規】国産木材の利用促進	施設課 環境課	93
64	【新規】暑熱対策「涼み処」の設置	環境課	95

基本目標3【循環型社会】 廃棄を抑制し、資源を大切にすまち			
取組の柱① ごみの発生抑制の促進			
65	ごみ減量出前講座等の実施	清掃リサイクル課 台東清掃事務所	97
66	ごみ減量等の啓発用小冊子の作成	清掃リサイクル課	97
67	プラスチック削減の普及・啓発	環境課 清掃リサイクル課	97
68	イベント時の環境配慮行動の促進	環境課 清掃リサイクル課	97
69	事業系ごみの排出指導	台東清掃事務所	98
70	集合住宅のごみ排出抑制の促進	清掃リサイクル課 台東清掃事務所	98
71	不法投棄対策の強化	台東清掃事務所	98
72	【新規】食品ロス削減に向けた情報発信	清掃リサイクル課	98
73	【新規】食品ロス削減に向けた取組の促進	清掃リサイクル課	98
74	【新規】生ごみ減量対策事業	清掃リサイクル課	99
75	【新規】給水機設置によるマイボトルの利用促進	環境課 清掃リサイクル課	99
取組の柱② 資源循環の促進			
76	資源回収の推進	清掃リサイクル課	100
77	集団回収の推進	清掃リサイクル課	100
78	リサイクル協力店認定制度の推進	清掃リサイクル課	101
79	環境リサイクル団体等の育成・支援	環境課 清掃リサイクル課 くらしの相談課	102
80	【新規】粗大ごみの資源化の実施及びリユース活動の促進	清掃リサイクル課	102
81	【新規】プラスチック分別回収	清掃リサイクル課	103

基本目標4【生活環境】 安心で美しく快適なまち			
取組の柱① 健康で快適な生活環境の確保			
82	環境改善資金融資あっせん（公害対策設備）	産業振興課 環境課	105
83	低公害・低燃費車への転換の普及・啓発	環境課	105
84	自転車等駐車場の整備	交通対策課	105
85	タウンサイクルの促進	交通対策課	106
86	循環バスめぐりんの利用促進	交通対策課	106
87	道路上の看板設置・商品展示への対応	道路管理課	106
88	アスベストに関する相談対応・情報提供	環境課 建築課	107
89	アスベスト含有調査費及び対策工事費の助成	建築課	107
90	アスベストに関する届出や措置に関する指導	環境課	107
91	解体等工事現場におけるアスベスト飛散防止に関する監視、指導	環境課	107
92	工場・指定作業場への規制・指導	環境課	107
93	事業者へのVOC排出指導	環境課	108
94	化学物質使用事業者への指導及び情報提供	環境課	108
95	特定建設作業等への指導	環境課	108
96	近隣に配慮した生活マナーの啓発	環境課	108
97	日常生活に影響をもたらす鳥獣害への対策	環境課	109
98	環境調査の実施・公表	環境課	109
99	国・東京都や近隣自治体との連携	環境課	109
100	【新規】旅行者へのマナー啓発	観光課	109
101	【新規】生活環境や生態系の保全	環境課	109
再掲	【新規】暑熱対策「涼み処」の設置	環境課	109
取組の柱② まちの美化に向けた環境配慮行動の普及・促進			
102	大江戸清掃隊への支援・連携の仕組みづくり	環境課	110
103	まちの美化里親制度の推進	環境課	110
104	喫煙等マナー向上の推進	環境課	110
105	公衆喫煙所の整備	環境課	111
106	公衆喫煙所の設置・移設・廃止の検討	環境課	111
107	【新規】公衆喫煙所設置費等助成	環境課	111
108	ポイ捨て防止対策の実施	環境課	111
109	景観条例等に基づく景観づくり	都市計画課	111
110	景観資源を活用した景観形成の推進	都市計画課	111

基本目標5【環境学習・協働】 一人ひとりが環境を意識し、行動するまち

取組の柱① 持続可能な社会を担う人づくり

111	区民による環境調査の実施	環境課	113
112	各種環境講座・イベント・施設見学会の実施	環境課	113
113	花の心の教育	指導課	113
114	環境学習見学会	環境課	114
115	環境教育プログラム・教材の開発	環境課	114
116	学校ビオトープを活用した自然観察等の実施	指導課	114
117	清掃施設見学会	指導課	114
118	町会や事業者団体へのエココーディネーター派遣	環境課	114
119	「ビオトープ調査隊」の実施	環境課	115
120	区民自然観察員の養成	環境課	115
121	青少年教育の推進	生涯学習課	116
122	台東区環境ポスター・標語コンクール	環境課	116
123	環境学習ハンドブックの作成	環境課 清掃リサイクル課	116
124	環境、ごみ減量・リサイクル講演会の実施	環境課	117
125	【新規】環境学習オンライン講座の実施	環境課	117
126	【新規】森林体験ガイドウォークの実施	環境課	117

取組の柱② 多様な主体による環境配慮行動の推進

127	環境(エコ)フェスタの開催	環境課	118
128	地域での活動の促進・支援	環境課 清掃リサイクル課 台東清掃事務所	118
129	区民・事業者・区が協働した景観まちづくりの推進	都市計画課	118
130	花の心プロジェクト推進協議会運営	環境課	119
131	【新規】環境審議会の設置	環境課	119
再掲	家庭における環境配慮行動の普及促進	環境課	119
再掲	【充実】ビジネス環境配慮行動の普及促進	環境課	119
再掲	新製品新技術開発支援	産業振興課	119

取組の柱③ 環境保全の意識啓発と情報発信の充実

132	情報発信や自主的な環境学習の拠点としての機能の充実	環境課	120
133	各種環境調査結果・観察会情報等の提供	環境課	120
134	【充実】様々な広報媒体を活用した環境情報の発信	環境課	120
135	環境ふれあい館公式X「まわるん」による環境情報の発信	環境課	121
136	環境案内人(エコガイド)の発行	環境課	121
137	【新規】環境基本条例の制定と周知啓発	環境課	121
138	【新規】教育旅行誘致用プロモーション教材の作成	観光課	121